

高等教育機関教職員のための 人材育成プログラム

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、加盟機関の教職員を対象とした「人材育成プログラム」を開催いたします。皆さんと共に学び、その成果を日常業務で活用できるよう、高等教育機関が抱える様々な課題や最近のトピックに関する内容を準備いたしました。

教職員の皆さん一人ひとりが輝き、より良い大学運営が成されるように、多くの方のご参加をお待ちしております。

11月へ延期
します

第1回 6月5日（金）

一人ひとり違った学生に対して教職員の立場でできること～多様な人材と共生する大学キャンパスを目指して～

脇 貴典（筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター研究員）

第2回 7月10日（金）

大学職員に必要な能力と専門性

吉田 一恵（愛媛大学教育学生支援部愛媛大学SD統括コーディネーター/能力開発室長）

FD

第3回 9月18日（金）

アクティブ・ラーニングを促す学士課程の構築

原 圭寛（湘南工科大学工学部総合文化教育センター・教職センター講師）

FD

第4回 10月9日（金）

教育効果・学習成果の評価方法とその実践

竹中 喜一（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室講師）

第5回 11月予定

現在調整中

参加申込方法

各回とも、加盟機関を通じ参加希望者を募ります。

遠隔配信やインターネットによるe-Learningをご希望の方は、開催7日前までにお申し出ください。

開催時間：14:00～16:00

開催会場：岐阜大学柳戸キャンパス全学共通教育棟（岐阜市柳戸1-1）（裏面参照）

お問合せ先：ネットワーク大学コンソーシアム岐阜事務局 連絡先

TEL:058-212-0393 FAX:058-212-0391 メールアドレス:info@gifu-uc.jp HP:http://www.gifu-uc.jp/

令和2年度人材育成プログラム

11月へ延期
します

第1回 6月5日（金）一人ひとり違った学生に対して教職員の立場でできること

～多様な人材と共生する大学キャンパスを目指して～

大学等の高等教育機関には、多様な発達特性を有した学生が存在します。そして、多様であることは個々に必要とする支援内容が異なることにつながります。それでは、障害学生に対して、日々の業務の中で大学教職員の立場からどのような支援が実施できるでしょうか。また、どのような関りが適切でしょうか。本研修では、皆さんが日頃感じている難しさについて、その対応方法を考える機会にできればと考えています。

第2回 7月10日（金）大学職員に必要な能力と専門性

昨今、高等教育機関の職員に求められる能力が高度化・多様化している。例えば、R2.3.30公表の「ガバナンス・コード」には「教職協働による質の高い法人経営を実現できる高度な専門職」や「事務職員の高度化の実現」について記されており、職員が大学運営でも積極的かつ重要な役割を担うことが強く求められている。このような背景に基づき、本プログラムでは、「高等教育機関を取り巻く環境・改革や、職員に求められる能力と専門性について理解を深める」ことを目指す。

第3回 9月18日（金）アクティブ・ラーニングを促す学士課程の構築

「アクティブ・ラーニング（AL）の導入」は、近年は大学教育において半ば義務化されているような感すらある。しかしALに対する共通認識は確立されておらず、議論・実践共に混迷する一方である。加えて今日では、「汎用的技能」を獲得させる手法としてALが注目されているが、「汎用的技能」の獲得を目指す授業の展開は、大学教員個々の研究との乖離が生じやすい。更にALの一つとして注目を集めるPBLなどの手法は、一授業の運営方法というよりはカリキュラムの構築方法であるにもかかわらず、ALがカリキュラムの次元で議論されることは非常に稀である。上述のような問題点を踏まえ、本講演では1) ALの成立背景を確認し、2) ALの主目的とされる「汎用的技能」という概念自体の問題点をコンピテンス論の観点から検討したうえで、3) これらを踏まえたDP・CPの構築と具体的なALの展開方法を提案する。

第4回 10月9日（金）教育効果・学習成果の評価方法とその実践

学生が何を学び、何ができるようになったかを考えるためには、教育効果や学習成果に関するデータを収集・分析し、その結果を組織の教育改善に活用していかなければなりません。本プログラムでは、教育効果や学習成果に関するデータの収集・分析・活用といった一連の流れを推進するための実践的な方法について学びます。特に、教育効果や学習成果を評価するための方針や指標、関連するデータの切り口を中心に考えていきます。

第5回 11月予定

現在調整中

会場案内図

